

# 道路事業

平成28年3月に閣議決定された北海道総合開発計画においては、「人が輝く地域社会の形成」、「世界に目を向けた産業の振興」及び「強靭で持続可能な国土の形成」を主要施策として推進することとしています。特に、北海道の強みである「食」や「観光」に関連する分野等における成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす生産空間・基礎圈域の保持・形成を図るために基盤整備を推進するとともに、社会情勢の変化の中でも生産性の向上に資する事業を推進します。

## 広域分散型の地域構造を支える交通ネットワークの形成

北海道内外の人流や物流の拡大、地域・拠点間の連携を確保するため、高規格幹線道路等のネットワークの構築を推進します。

《主な事業》 北海道横断自動車道(本別～釧路)など

- ・国道38・44号 釧路外環状道路 L=6.9km 【平成30年度開通予定】
- ・根室道路 温根沼IC(仮)～根室IC(仮) L=7.1km 【平成31年度開通予定】
- ・釧路中標津道路 上別保道路 L=6.6km 【平成30年度開通予定】



北海道横断自動車道 本別～釧路  
(阿寒IC～釧路西IC)



国道38・44号 釧路外環状道路  
H27年度開通状況(釧路西IC～釧路東IC)

## 冬期交通の安全確保と暴風雪災害時におけるきめ細かな地域支援

安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除雪作業を実施します。また、関係機関で組織する道路防災連絡協議会で相互の連携強化を図るとともに、自治体支援のため除雪機械の貸付やリエゾン<sup>注1)</sup>の派遣による災害関連情報の共有等の支援体制構築について継続的に実施します。

(注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として自治体へ派遣する職員)

## 道路施設の老朽化対策

点検結果に基づいた措置を計画的に実施することによりメンテナンスサイクルを推進するとともに、長寿命化を目指し適正な修繕を実施する地方自治体に対して技術支援等を実施します。

《老朽化対策の実施》 国道44号ほか 橋梁補修

## 道路の防災・震災対策の推進

大規模災害時の救急救命活動や復旧支援活動を支えるため、緊急輸送道路の強化や代替性確保のための高規格幹線道路の整備、迅速な道路啓開実施のための施策を推進します。

《防災・震災対策の実施》 北海道横断自動車道(本別～釧路) 国道44号 根室防雪ほか

## 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間等を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)を推進します。また、近年増加傾向にある自動車専用道路の逆走防止対策を推進します。

《主な事業》 国道243号 明郷事故対策(H29年度新規事業化)ほか2か所

## 無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、地域住民や電線管理者等と連携し、無電柱化を推進します。

《主な事業》 国道44号 釧路末広町電線共同溝

道路事業の概要		
路線・地区名	主な事業	事業
高規格幹線道路	北海道横断自動車道根室線	北海道横断自動車道(本別～釧路)(道東自動車道)
	国道38号及び44号	釧路外環状道路
	国道44号	根室道路
地域高規格道路	釧路中標津道路	上別保道路
	国道38号	釧路新道【一般改築の推進】
一般国道	国道44号	根室防雪【道路の防災・震災対策】
	国道44号	雪裡橋架替【道路の防災・震災対策】
	国道44号	釧路末広町電線共同溝【無電柱化の推進】
	国道44号ほか	橋梁補修
	国道243号ほか	明郷事故対策(H29年度新規事業化)外2か所【交通安全対策の推進】
	国道335号	標津防災【道路の防災・震災対策】